

新入会員の紹介

クボタシーアイ(株)のプラスチック耐食管材による管路更新更生工法

推進工法・EX工法・ダンビー工法・ 勾配復元工法・パイプインパイプ工法

問い合わせ先：クボタシーアイ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目8番2号 第一鉄鋼ビル4階

TEL.03-3287-3910 FAX.03-3287-3992

<http://www.kubota-ci.co.jp>

平成17年4月1日に(株)クボタ合成管事業部とシーアイ化成(株)管工機材事業部は事業統合し、「クボタシーアイ株式会社」としてスタートしました。これまで両社は、優れた機能と施工性を持つ耐食管材を開発し、半世紀にわたり日本のライフラインづくりに貢献してまいりました。

クボタシーアイは、両社保有の技術・知識の融合を図りながら商品開発力を高め、両親会社・関連会社との連携シナジーを活かし「人と自然を結ぶパイプネットワーク」の実現をめざした新世紀ライフラインづくりにこれからも貢献するために、迫りくる管路更新時代を考え、小口径から大口径までプラスチック耐食管材による様々なご提案をいたしております。

①推進工法

日本下水道協会規格品の下水道推進工法用硬質塩化ビニル管 (JSWAS K-6規格品)、下水道用ポリエチレン管 (JSWAS K-14規格品) 並びに水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K144規格品) を用いた非開削による管路構築を実現する『推進工法』です。

②EX工法

塩ビ樹脂をベースとする折り畳みEXパイプを既設管内へ挿入し、元の円形状に戻して圧着させることで、優れた強度と品質を備えた連続パイプを生み出すEX工法『小口径 (200～600mm) 更生工法』です。

③ダンビー工法

塩ビ製の帯板 (ストリップ) を既設管の内側に密着させながら嵌合用接合部材 (ジョイナー) を使ってスパイラル状に製管し、その隙間に高流動、高強度の充填材を注入。断面縮小を最小限に抑えた複合管を形成する『大口径 (800～3000mm) 更生工法』です。

④勾配復元工法

下水道管の「たるみ」による臭気・堆積物・硫化水素の発生を解決するため、FRP製の半割状の勾配復元部材を用いて円滑な流れに改善する『勾配復元工法』です。

⑤パイプインパイプ工法

既設管内に水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K144規格品) を挿入し、老朽化が進んだ若しくは耐震化されていない圧送管路を非開削で更新する工法です。水道配水用ポリエチレン管は国土交通省の道路占用許可対象管となっていることに加え、外管の強度に関係無く「自立管」として柔軟性を活かし直線部以外でも曲げ施工ができ、厚生労働省発表の水道ビジョンや(社)日本水道協会の水道事業ガイドラインJWWA Q100規格においても「耐震管」として認定されております。

大切なライフラインを確保し、減災に備えるために、安心・安全・衛生性を備えたコストパフォーマンスに優れた水道配水用ポリエチレン管の『パイプインパイプ工法』をご活用ください。



EX工法



ダンビー工法



勾配復元工法



パイプインパイプ工法